

通信教育部メディアスクーリング
経済学（2017年度撮影）

経済学

（資本と利子から経済を考える）

第8回

法政大学 法学部
水野和夫

第8回目のテーマ

- ▶グローバリゼーションのイデオロギー性（マンフレッド・B・スティーガー）
- ▶グローバリゼーションがもたらした結果
・・・8人対36億人、エレファンカーブ

グローバリゼーション賛派の5つの主張（マンフレッド・B・スティーガー、岩波書店、2005）

- ▶ 主張1：市場の自由化に貢献
- ▶ 主張2：不可逆的である
- ▶ 主張3：統括している者はいない
- ▶ 主張4：誰にとっても利益がある
- ▶ 主張5：民主主義をいっそう広める

グローバリゼーションVS.グローバリズム

『グローバリゼーション』スティーガー(2005)、「グローバリゼーションのイデオロギー的次元」(p118~)	<p>私たちが行うべきは、分析上の重要な区分として、グローバリゼーションとグローバリズムを区別することである(p120)</p> <p>グローバリゼーション…さまざま、またしばしば矛盾する仕方で描写されてきた、グローバルな相互依存を強化する社会的な諸過程(p120)</p> <p>グローバリズム…グローバリゼーションの概念に新自由主義な価値と意味を与えるイデオロギー(p120)</p> <p>この支配的なイデオロギーは、おもに北世界に位置する、強力な社会的諸勢力の一員によって世界中に広められている。それらの社会的勢力は、企業経営者や巨大多国籍企業の重役、企業ロビイスト、ジャーナリスト、広報の専門家、多くの一般大衆向けの書き手である知識人、国家官僚、そして政治家などから構成されている。これらの人々は、グローバリズムの提唱者としてこれを主導し、消費主義的で自由市場的な世界という理想化されたイメージで公共の議論を満たすのである(p.120)</p>
--	--

主張1:市場の自由化に貢献

①影響力のあるグローバリズム唱導派の発言、記事のなかにきわめて規範的に見出される五つの主要なイデオロギー的主張(p123)

主張1:グローバリゼーションは、市場の自由化およびグローバルな統合に貢献する(p124)

新自由主義者たちにとって、主張1のような定義は、**将来のグローバル秩序にとっての枠組みとして役立つ、自己調整的市場**という考え方を拠りどころとしている。

[政府の]一つの役割は、道を譲るということ、つまり、**財・サービス・資本の自由なフローのために障害を除去すること**である【**ジョン・スパイロ**(アメリカ・クリントン政権期の国務次官)】。

②イデオロギー

主張2:グローバリゼーションは不可避的で、非可逆的である

①グローバリゼーションは、**技術革新を背景とする非可逆的な市場の力**が不可避的な広がりをもったことの反映である、ということになる(p.127)。

主張2: 不可逆的である

②影響力のあるグローバリズム唱導派の発言、記事の中にきわめて規範的に見出される五つの主要なイデオロギー的主張

②天候や重力のような、ある種の自然な力としてのグローバリゼーションという新自由主義的な描写は、グローバリズム唱導派にとって、生き残って成功したいのであれば市場の規律=訓練に順応しなければならない、と人々を説き伏せやすくする。したがって、グローバリゼーションが不可避であるという主張は、グローバリゼーションについての公的言説を脱政治化する(p.129)。

③ここに見いだされるのは、西洋文明に利する無情な自然法則、自己調整的な完全競争の経済モデル、自由企業の美点、国家干渉の悪弊、自由放任(レッセフェール)原理、そして適者生存を生む**非可逆的なプロセス**である。

今日私たちは、グローバリゼーションの厳然たる理論を受け入れなければならない。私たちの経済の強靭さから、私たちの都市の安全性や私たちの健康にいたるまで、ありとあらゆることが、私たちの国境の中での出来事だけでなく、地球の裏側の出来事によって左右される。…グローバリゼーションは逆転しえないのである【クリントン前アメリカ大統領】。(p.128)

主張3: 統括している者はいない

③影響力のあるグローバリズム唱導派の発言、記事の中にきわめて規範的に見出される五つの主要なイデオロギー的主張

主張3: グローバリゼーションを統括している者はいない 誰のせいでもない

人々がグローバリゼーションを統括しているのではなく、市場とテクノロジーが統括しているのである。人間のある種の活動がグローバリゼーションを加速したり、遅らせたりするとしても、結局のところ、市場の見えざる手の行使する知恵が非常に優るのである p.131)。

左派の多くの人々はグローバルな市場を毛嫌いしている。というのも、それこそは彼らが毛嫌いする市場全般のまさに典型だからである。実際、それを統括する者などいない。見えざる手が国内市場の大半を支配しているというのが真実であり、これは、アメリカ人ならほとんどが当然の事実として受け入れていることである【ポール・クルーゲマン(アメリカの経済学者)】

主張4:誰にとっても利益がある

④影響力のあるグローバリズム唱導派の発言、記事の中にきわめて規範的に見出される五つの主要なイデオロギー的主張

主張4;グローバリゼーションは誰にとっても利益がある

この主張4は、グローバリズムのまさに中核に位置している。というのも、それが、グローバリゼーションは「善い」もの、あるいは「悪い」ものと考えられるというべきかという重大な規範的問題に対して肯定的な答えを与えるからである(p.133)。

ほとんど疑いないのは、多少の問題があろうとも、グローバル金融の並外れた変化が世界の経済構造と生活水準を格段に進歩させるのに寄与してきたということである。…【アラン・グリーンスパン（アメリカ連邦準備制度理事会議長）】

主張5: 民主主義を広める

⑤影響力のあるグローバリズム唱導派の発言、記事のなかにきわめて規範的に見出される五つの主要なイデオロギー的主張

主張5: グローバリゼーションは世界に民主主義をいっそう広める口

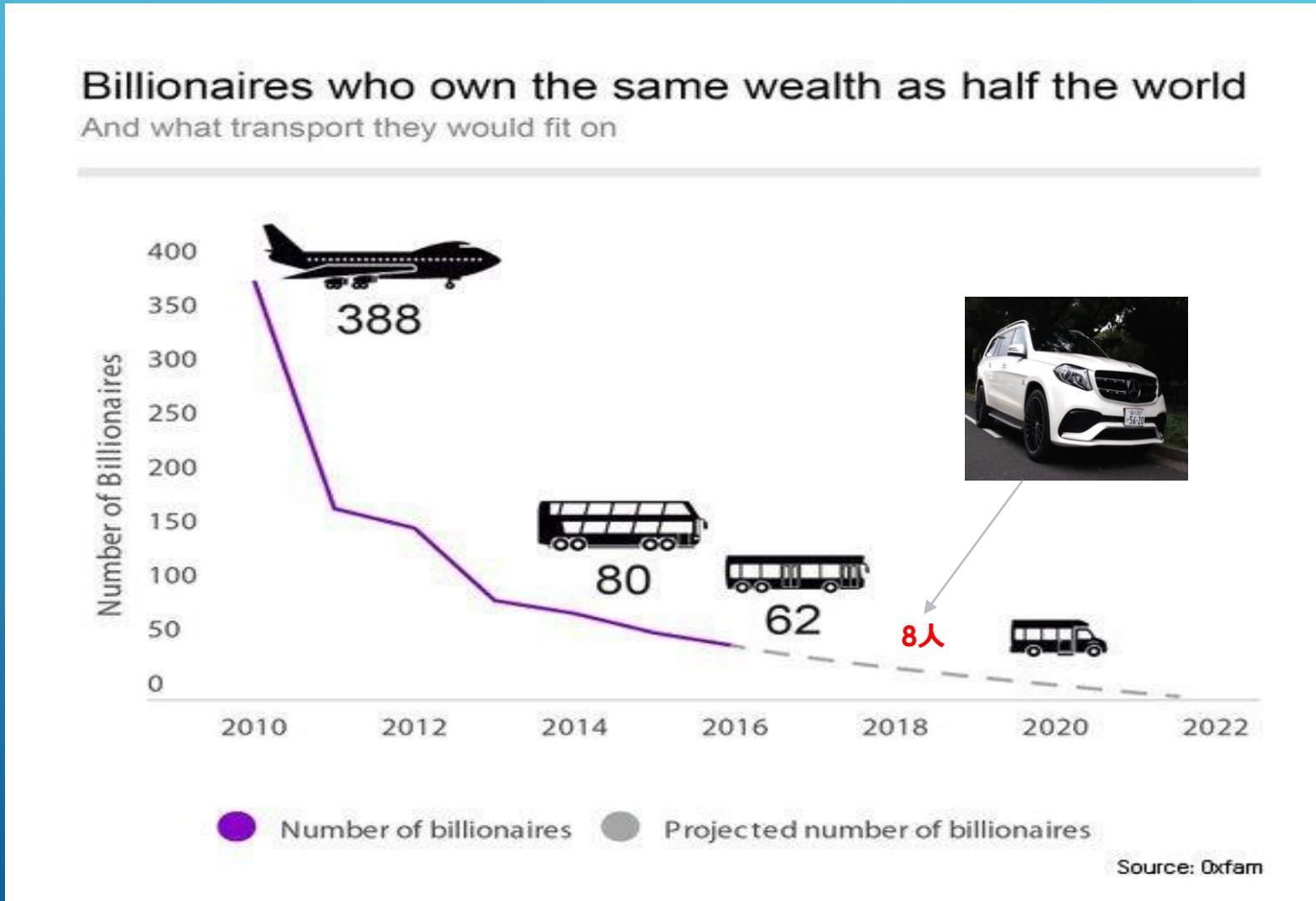
グローバリズム提唱者によるこの主張は、自由主義と民主主義が同義であるという新自由主義的主張に根差している。(略)これらの意見は、政治的・経済的な政策決定について、広く多数の人々の直接的参加をかえりみない、投票などの形式的手続きを強調する民主主義の概念に依拠している。**こうした「薄弱な」民主主義概念**は、エリート主義的あるいは管理型の、「強度の低い」ないし「形式的」な市場民主主義モデルを反映するものである(p.141)。

グローバリゼーションの結果として生まれる経済発展の水準は、強力な中産階級を擁する複合的な市民社会創出の導き手である。この階級と社会的構造こそが民主主義を促進するのである【フランシス・フクヤマ(ジョンズ・ホプキンス大学)】(p.142)

グローバリゼーションのもたらしたもの

- ▶世界・・・8人対36億人（オックスファム、2017年公表）
- ▶エレファントカーブ
- ▶米国ラストベルトの人たちの絶望感

2015年62人→9人に訂正(2017年1月)、 2016年には8人へ…資產格差は4.5億倍に拡大



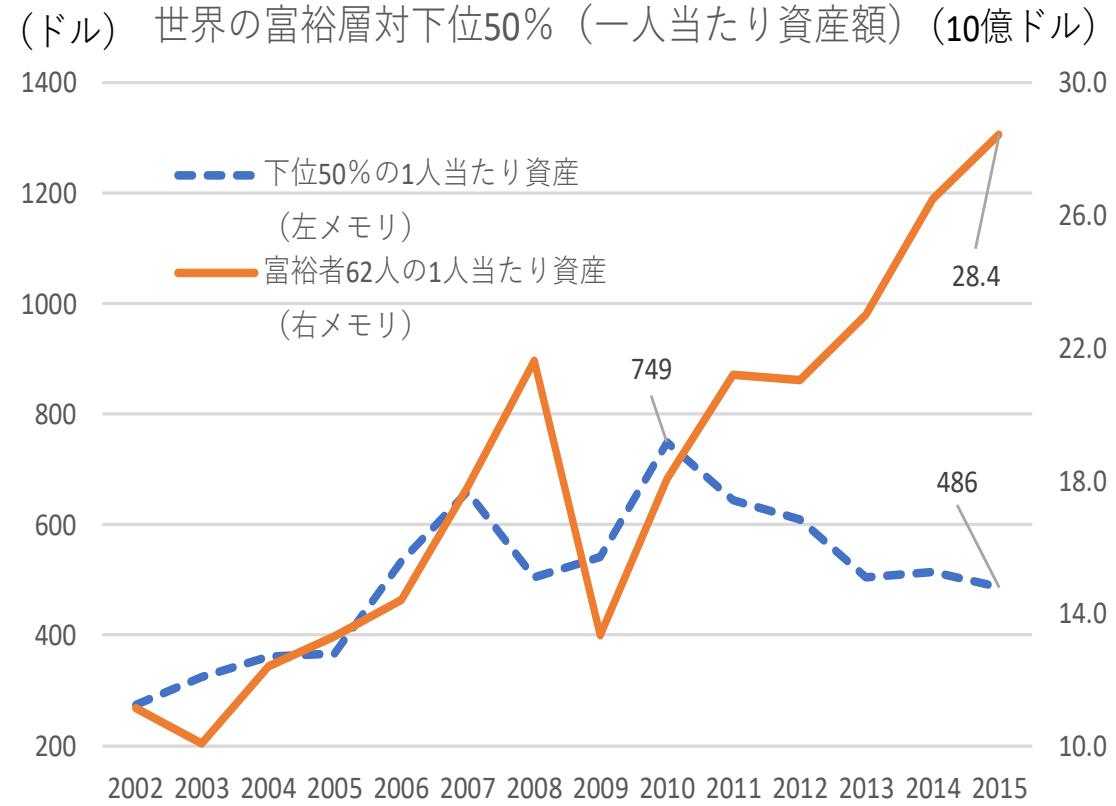
http://www.huffingtonpost.jp/2016/01/19/economy-for-the-1-percent_n_9021548.html

2017年1月、世界の富裕層上位8人の資産、下位50%と同額
N G O報告書

↑
2016年1月
富裕層トップ62人の資産、世界の半分36億人の合計と同じ

The Huffington Post | 執筆者：
HuffPost Newsroom
投稿日: 2016年01月20日 08時58分
JST 更新: 2016年01月20日 08時58分 JST

世界の富裕層はますます富み、下位50%はますます貧しく 一なぜ、グローバリゼーションは格差と貧困を生むのか？

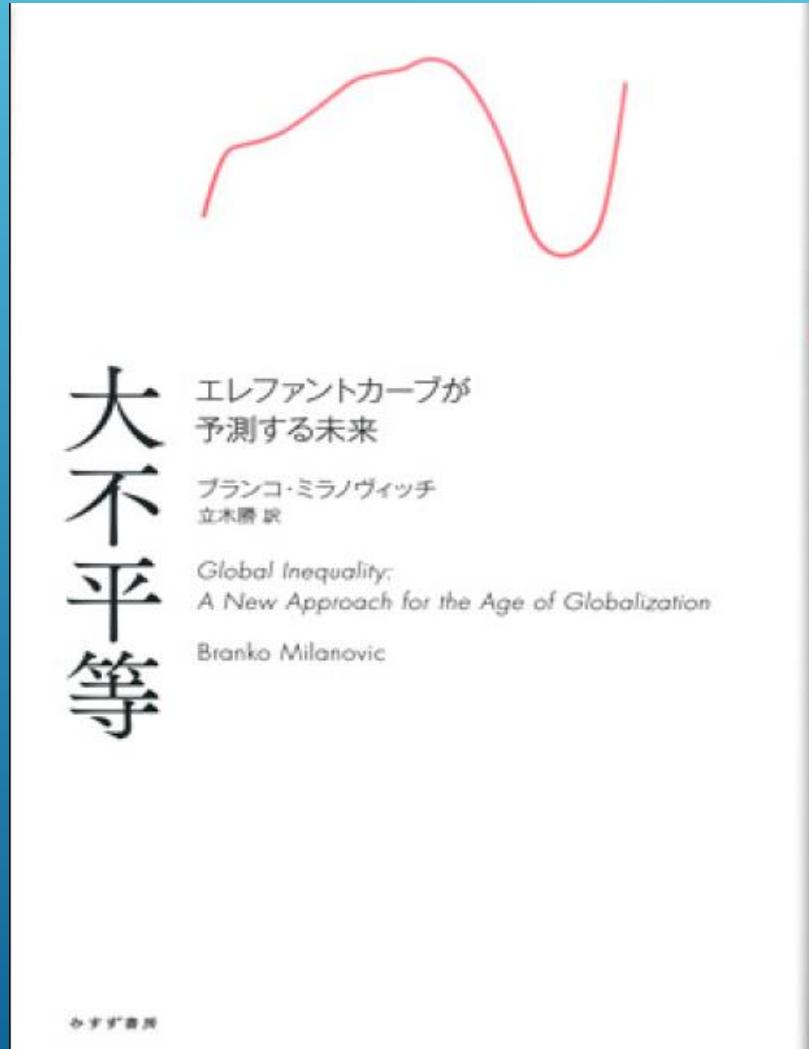


(出所) Oxfam "Methodology note to accompany 'An Economy for the 1%: How privilege and power in the economy drive extreme inequality and how this can be stopped'"

下位50%の1人当たり資産 (ドル) ①	富裕者62人の1人当たり資産 (10億ドル) ②	格差比率 (②/①)
2002	273	40,773,135
2003	324	31,067,400
2004	360	34,406,595
2005	368	36,155,778
2006	535	26,944,252
2007	659	26,976,785
2008	506	42,715,044
2009	542	24,587,462
2010	749	24,079,023
2011	644	32,915,046
2012	610	34,490,514
2013	505	45,608,569
2014	514	51,488,004
2015	486	58,438,732
2016	116	459,375,000

(注) 2016年は上位8人の平均

エレファントカーブ

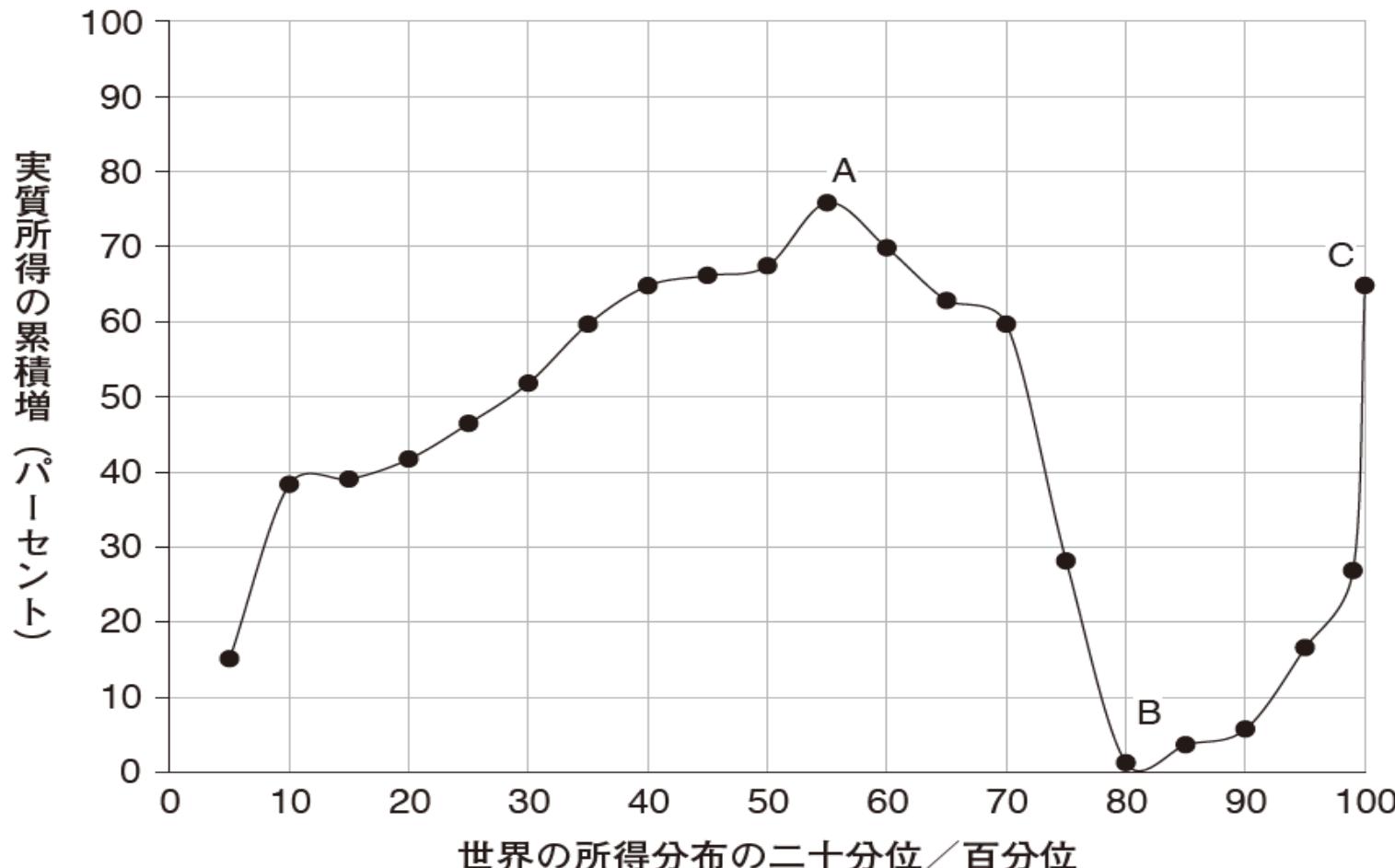


『ワシントンポスト』紙が「現代政治のロゼッタ・ストーン」と評したエレファントカーブだ。横軸の100に位置するのがグローバルに見た超富裕層、0に位置するのが最貧困層。縦軸はベルリンの壁崩壊からリーマンショックの間に各層がどのくらい所得を増やしたかを示している。

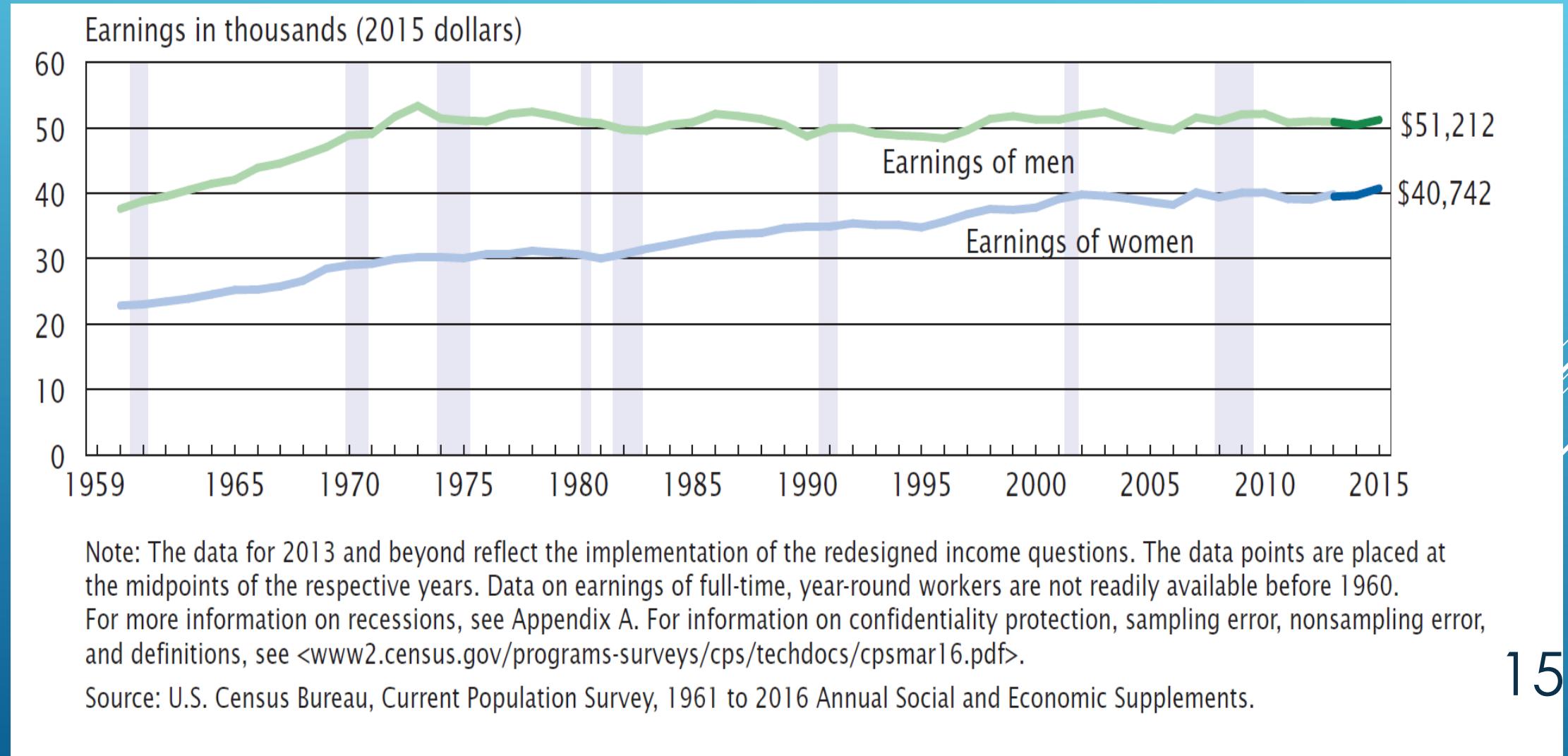
50-60番目の人たち（中国などのグローバル中間層 = A）は所得を大きく伸ばし、80-90番目の人たち（先進国の中間層 = B）の所得は停滞し、90番目以上の超リッチ（グローバル超富裕層 = C）の所得はこれまた大きく伸びていることがわかる。本書は、このグラフの発表者が、新たな理論「クズネツ波形」で、今世紀の世界的不平等の行方と経済情勢を予測した基本書だ。

– BREXIT、トランプ現象などの原因を如実に示した一枚の図。

13 1 グローバルな中間層の台頭とグローバルな超富裕層



米国内の階級闘争 —ラストベルトvs.ウォール街、シリコンバレー



経済問題から米国白人社会存続の危機へ

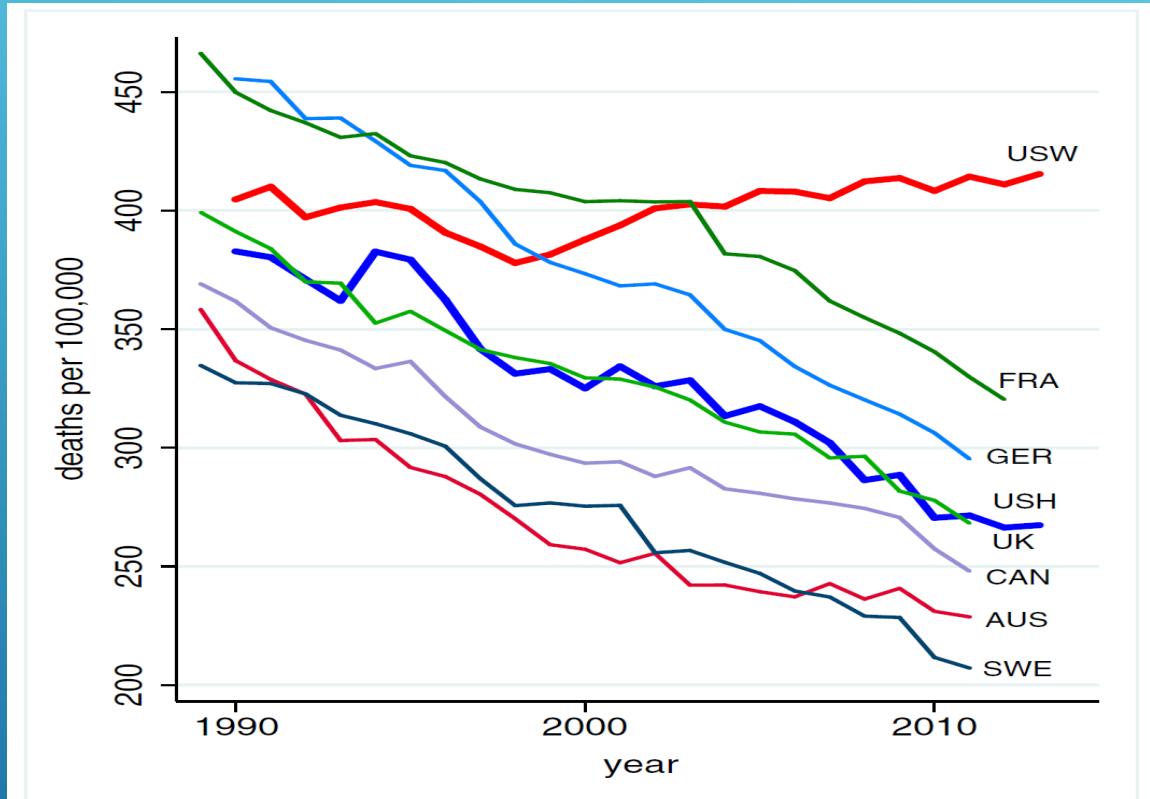


Fig. 1. All-cause mortality, ages 45–54 for US White non-Hispanics (USW), US Hispanics (USH), and six comparison countries: France (FRA), Germany (GER), the United Kingdom (UK), Canada (CAN), Australia (AUS), and Sweden (SWE).

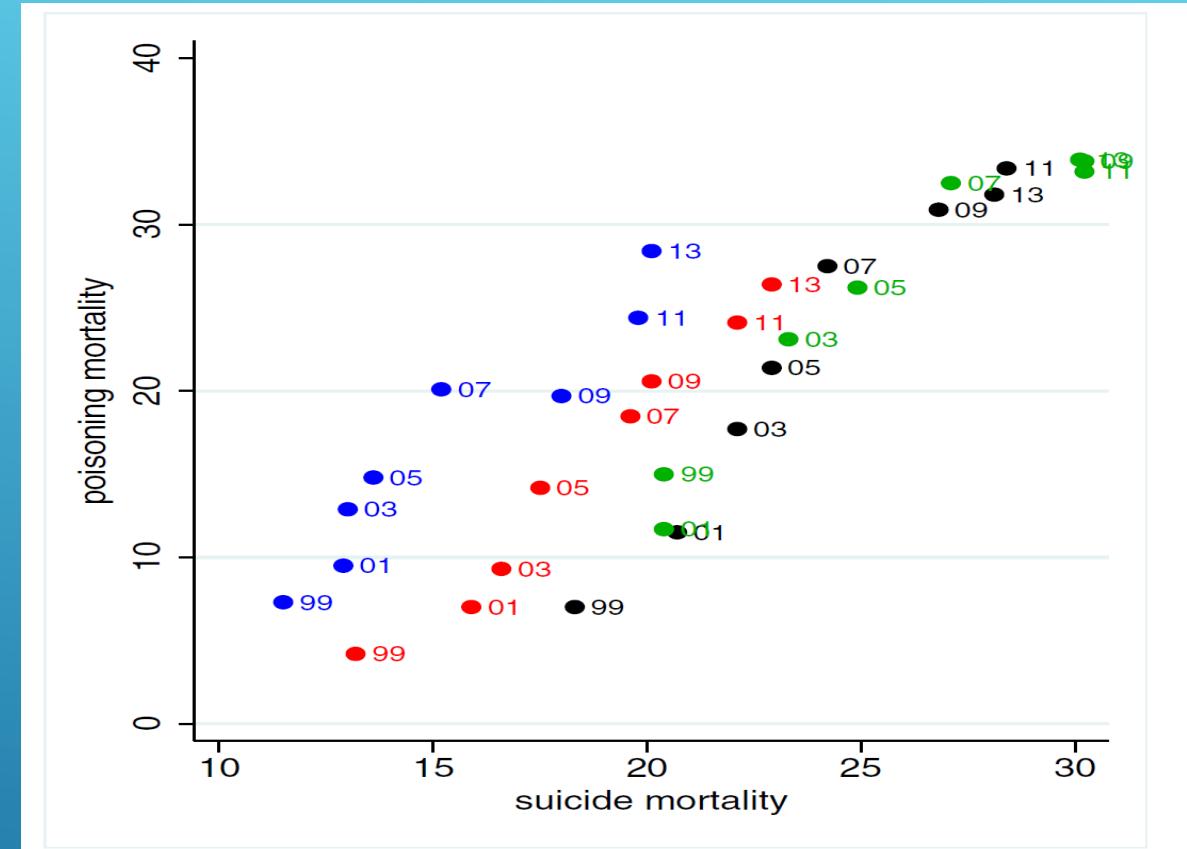


Fig. 3. Census region-level suicide and poisoning mortality rates 1999–2013. Census regions are Northeast (blue), Midwest (red), South (black), and West (green).

Rising morbidity and mortality in midlife among white non-Hispanic Americans in the 21st century

Anne Case¹ and Angus Deaton¹

史上最高益の企業利益 VS 減少する賃金 －正反対の動きを正当化できる理論はあるのか？

